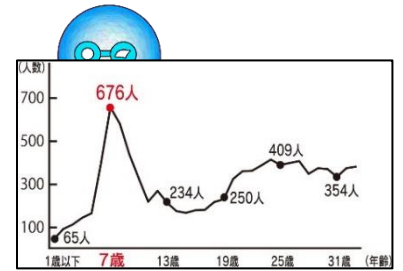




## 1年生交通教室

今日は、1年生の交通教室が行われました。県警交通本部から2人、県警交通アドバイザーから1人、東署から2人、地域の交通安全協会から7人の計10人を講師に迎え、横断歩道の渡り方を学びました。今回の交通教室に際して、私も資料を調べていると「魔の7歳」という言葉を知りました。この「魔の7歳」というのは、自動車と歩行者の事故件数(全国)を年齢別に見ると、小学1、2年生に当たる「7歳」が突出して多いことからそうされるそうです(右図参照)。県警のデータでも、県内での7歳前後の事故数が小学生全体の約6割(令和5年)を占めています。その交通事故の理由として、「飛び出し」等が上位を占めます。子供は大人に比べて視野が狭い上、興味を引かれた物に一目散に向かってしまう特性があり、つい道に飛び出してしまいます。小さな子供ほどその傾向が強くなるのが分かっています。なお、交通事故が最も多いのは、5月と10月だそうです。これは、学校に慣れた5月、夏休み明けから少し気が緩む10月が多くなり、単独行動の機会が増えると交通事故に遭うリスクが高まります。



「飛び出し」等が上位を占めます。子供は大人に比べて視野が狭い上、興味を引かれた物に一目散に向かってしまう特性があり、つい道に飛び出してしまいます。小さな子供ほどその傾向が強くなるのが分かっています。なお、交通事故が最も多いのは、5月と10月だそうです。これは、学校に慣れた5月、夏休み明けから少し気が緩む10月が多くなり、単独行動の機会が増えると交通事故に遭うリスクが高まります。

今回の交通教室は、警察からのお話や、横断歩道の渡り方の実技、シュミレーターというモニターを使った実技等があり、充実した安全教室となりました。

お家でも、通学路の危険箇所を一緒に確認し、見通しが悪い場所では「どうすれば安全に通れるかな」などと問いかけることで、子供が交通ルールを考える機会になります。事故を防ぐためには、「左右を確認し、車が止まってから渡る」などと、家庭で交通ルールを繰り返し伝えることが大切です。

交通安全については、1年生のみならず、帯西の子供たち全員に「帯西イエロー」の心で交通ルールをしっかり守って、「帯西ブルー」の心で、自分の命はしっかり守って欲しいと思います。

今回の交通今日安全教室の様子はNHKも取材に来ていて、4月25日(木)の「クマロク」18:10~19:00分の番組の中で放映されるそうです。是非ご覧ください!

## 委員会活動始まる!

委員会活動は、5・6年生の子供たちが参画し、学校生活がより楽しく、より充実したものになるよう学校内の仕事を分担し、学校の課題に自治的に取り組んでいくための活動です。本年度の委員会活動は、保健・体育・放送・掲示美化・給食・生活・図書・緑化・音楽・タブレット(新規)委員会の11委員会が、アイデアを出し合いながら活動していきます。これらの活動を通して、「自分一人のためだけではなく、自分を含めたみんなの役に立つことの大切さ」を体感しています。

委員会活動によって、子供たちの成長に繋がるばかりでなく、学校文化も豊かになっていきます。委員会活動における子供たちの活躍は今年も随時紹介していきます。



音楽委員会の発足式の様子